

いわみざわ



発行所 陸上自衛隊 陸自駐屯地 陸自見沼駐屯地 陸自見沼駐屯地 陸自見沼駐屯地 陸自見沼駐屯地
印刷所 北海道立福祉村 印刷所 印刷所 印刷所 印刷所 印刷所
電話 (0126) 45-2721

平成元年度スタート 任重く・道遠し



第12施設群長 兼 駐屯地司令 久留島 昭彦

「内平らかに、外なる。」の希望をこめた平成元年度がスタートしました。
私は、二年前の着任の時に有事の際に本場に役に立つ部隊をめざして、訓練の目標はあくまで高く厳しく、しかしながら平素の生活の場は和やかな安らぎの場として真にくつろげるようとしていこうといたしました。この二年間、隊員一

人一人の努力により、部隊は大きくこの方向に前進しつづけることを確信し、大変うれしく思っています。
駐屯地環境整備長期計画の完成、体育館、食厨房の新築決定、六十三年度群訓練検閲「優良」、団冬季戦技競技会「優勝」等は、その成果の一端であります。
しかしながら、この程度のことでは満足しておれるほどではないのです。

第3施設団冬季戦技競技会 第12施設群優勝

六年振りの栄冠 天の時、地の利、人の和の勝利



二月二十二日、折りからの吹雪を衝いて岩見沢駐屯地営庭及び孫別演習場を舞台として、昭和六十三年度第三施設団（団長 岡嶋悟 陸将補）冬季戦技競技会が開催された。
競技会は、第一施設群（南恵庭）、第十二施設群（岩見沢）、第十三施設群（幌別）及び集成直轄部隊（団本部、第一〇五器材隊、第三〇三ダンプ中隊）の四個チームにより、断郊機動、同リレー、アキオ曳行機動、同リレーの四種目の合計タイムを競うもので、第十二施設群（群長久留島一佐）が、七時間四十九分三十三秒で総合優勝の栄冠を獲得した。

大会前日には、駐屯地全員が参加して壮行会を行い花束贈呈、選手全員の紹介、選手全員の決意表明、駐屯地業務隊長（米本二佐）及び各部隊代表者による激励、全隊員によるエール等を実施し「一秒短縮」を誓った。
大会は、前日までは晴天続きでアイスバーンであったものが、当日は天の時を得て、吹雪のなかで開催された。
第十二施設群は、断郊機動（十Kg小銃）種目で一位の第十三施設群にトータルタイムで二分五十四秒リードされたものの、断郊機動リレーでは逆に二分二十八秒の差をつけて種目優勝。午前中の総合タイムは、第十三施設群に続き二十六秒差の第二位となった。
午後は、雪も止み、良好な状態での競技となり、アキオ曳行（五十kg積載）四人引きは、健闘したものの、下り坂で転倒する等のロスタイムが響き、第十三施設群とのタイム差は、一分三十八秒と開き、最終種目のアキオ曳行リレー

に優勝を託した。
リレーの第一走チームは、下浅二曹、河原一曹、松田三曹及び山口三曹の団最強のアキオ曳行組で、予想通り、第十三施設群に二分十四秒差をつけ、総合タイム差三十六秒リードしたものの第二走チームは、ほぼ五角。第三チームは逆に七秒リードされてアンカーチームにリレーした。
このため、最後まで優勝の



平成元年を迎えて

去る一月七日に崩御された昭和天皇とお別れする「大喪の礼」が氷雨降中、二月二十四日、東京の新宿御苑において、いとも厳肅の内に挙行された様子をテレビで見ました。参列者は、竹下首相以下、官・財界・文化人など各界の代表は勿論であり、外国の弔問使節として百六十四カ国、七国際機関の代表など、約一万人の多きに達したわけで、私は食い入るように見ておりました。

まさしく日本の国威を象徴するにふさわしい「大喪の礼」でありました。

戦後四十三年、よく言われるように国民の英知と努力に



編集長 治 武 協 力 会 区 隊 連 合 会 長

より、経済大国として世界の一等国に成長した今日の日本を見るに、終戦時に誰が予想し得たであろうか感うた無量のものがあります。私は、終戦を樺太の豊原で迎えました。昭和二十年八月十五日、昭和天皇の玉音放送により整然と武装解除がなされた抑留生活に入りましたが、食糧不足の生活体験、特に国内の食糧難は経験した者でなければ筆舌に尽くし難い窮状で、今日の物あまり使いすてなどを見るにつけ私共年寄りもつたいないという気になるのは私だけではないようです。それについても、終戦直後昭和天皇がマツカサー元帥を

駐屯地意見発表会 市内会場でも実施

岩見沢駐屯地（司令久留島一佐）では、二月二十八日、岩見沢市文化センターにおいて、



会場には、報道関係者、地元の名士、協力支援団体等の来賓二十三名と隊員四百名、一般市民及び隊員家族八十八名が訪れ、満席の会場のなかで、各中隊から選ばれた隊員と一般から岩見沢青年会議所（経営開発

訪ねて「私の身はどうでもよいから国民を助けて欲しい」と要請された訳ですが、戦後のわが国の驚異的な復興と今日の繁栄はアメリカ合衆国のお陰であり、また、このアメリカ合衆国と友好関係を保つ自由と民主主義を基調としてきた政治によるものであったと信じます。

しかしながら、今、戦後四十年余を経て、我が国も世界の日本としてより多くの責任を果してゆかなければならぬときに当り、政治的にも経済的にも数々の問題をかえ、国民の政治不信の傾向は目を覆うものがあり、一日も早い政治改革を国民の納得する方向で断行されることを、熱望する次第であります。

しかしして国民の信頼を回復し、安定した政治による国民の生活環境の向上と戦争のない国家の建設を心から期待するものであります。



の成果を取めて無事終了した。工事の成果

岩見沢

- 第三二一施設器材中隊 松崎三尉以下十二名
- 市道鳩ヶ丘線・上志文線 栄町四号線等
- 除雪実施日数 四十七日 排雪日数 三日
- 北村
- 第三三六施設中隊
- 二ノ宮曹長以下十二名
- 砂浜線、北二、五、六線 東二号線等
- 除雪実施日数 六十九日

者副委員長・梨本忠一氏）及び岩見沢商工会議所青年部（会長・日浦務氏）の特別参加（審査対象外）を得て、各々自由な論題で一人五分の限られた時間内に、各自持ち味を活かし、なかには方言で発表する等工夫をこらした人も居て、楽しい一時を過ごした。



隊河原士長及び第三三七施設中隊大富士長が努力賞を獲得し最優秀賞の中条三曹と優秀賞の柴田三曹は、第三施設団意見発表会の群の代表として選ばれた。

第十回第三施設団意見発表会は三月八日、恵庭市民会館大ホールで各部隊から選抜された十二名と市民からの特別参加者三名（審査対象外）の十五名の代表により行われ、

除雪作業隊 苦労様でした

岩見沢駐屯地第十二施設群では、十二月五日から三月二十一日までの間、岩見沢市道の一部及び北村道通学道路の一部の除雪工事を実施し、任務終了により三月二十二日、工事引渡し式を終え元気に帰隊した。

除雪工事は、岩見沢市長及び北村長の要請により受託し岩見沢市道及び北村道の市（村）民の交通路確保のため除雪工事を実施し民政協力に当り、岩見沢市長及び北村長からそれぞれ感謝状を受け幾多

第十二施設群代表の中条三曹が「水泳指導員を取得して」を発表して、最優秀賞を獲得した。

第十二施設群は、過去毎年、最優秀賞又は優秀賞に選ばれており、今年も、最優秀賞を獲得し伝統を継承している。「有言実行。」訓練、戦技隊務にまい進するとともに、来年度の意見発表会も伝統を活かしての活躍が期待される。



第三三七施設中隊 山本 3 尉

訓練雑感 テレンコ少尉

この度、筆をとる機会を与えられたので、思い切って、日頃感じている訓練全般に関して一つの事を述べてみたいと思います。

実戦に役立つ訓練とは、よく「訓練で流す汗が実戦で無駄な血とならぬように」と言われますが、空砲でない突撃入りの銃を構えた本物の敵がいる戦争の実相すら知らないのに、戦術感や化学兵器まで登場する現代戦において施設科の行動は、一体どうあるべきかです。

難しいことは上の人が考えるべきことなので、我々はどうすべきでしょうか。

そこで七中隊は、広く浅い訓練をしつつ、一細目だけでも深くこだわった訓練ができたらと思っています。

完成時間、場所、強度、人員等を変え逐次目標を設定し、汗をだし知恵を出し、これだけは無声指揮でもできる？と自信がつくように、また、個人の練度向上を図り、小隊長、分隊長がたとえ死んでも、どうにかこの作業だけはできるというレベルに上げていければと思っています。

最後に、前年度の検閲の講評は「概ね可」であったけれど、いつか自衛隊の輝く星！と言われる中隊目指して最善を尽くしていきたいと思っています。

国をまもる防衛庁職員のための

- 家族保障保険
- ニューライフサイクル
- 終身保険やすき

協栄生命

担当：田村純子、高橋ひさ子

自衛隊退職者雇用協議会 岩見沢支部

事務局：岩見沢市商工会議所内
支部長：三谷 栄一
TEL：0126-22-3445

- 年金と医療保険のバイオニア
- 生涯の保障に終身保険(明朗)

日々の暮しに安心を

東邦生命

担当 深沢 隆子 (内327)

群銃剣道競技会 七中隊が栄冠

第十二施設群（群長 久留 高一佐）では、四月十三日、岩見沢市民会館別館体育館において群銃剣道競技会を実施した。

銃技会は、本部 管理中隊、第三三 五施設中隊、第三 三六施設中隊、第 三三七施設中隊、 第三四二施設中隊、 （名寄）及び第三 一二施設器材中隊 の合計六個チーム によるリーグ戦に より行われ、第三 三七施設中隊（中 隊長吉田一尉）が 五勝〇敗で優勝の 栄冠を獲得した。

銃技は、各チー ムともに幹部、陸 曹及び陸士の階層 ごとに示された人 員（十五名）によ り一人三本勝負で 行われた。

本競技会は、例 年、駐屯地内のグラウンドで、 しかも一本勝負で行われてい たが、今年は、団の大会をに らみ、会場を市内体育館に移



本競技会は、例年、駐屯地内のグラウンドで、しかも一本勝負で行われていたが、今年は、団の大会をにらみ、会場を市内体育館に移

消される程白熱。総勝ち本数では、各中隊ともに五角の激戦であった。

特に、練習不足をものともせず本部管理中隊は、各施設中隊と五角に渡り合い、一勝四敗ながら、三試合が七対八での惜敗であり、その活躍には目を見張るものがあった。

また、個人戦の部では、各中隊から幹部一名・陸曹三名・陸士二名の合計三十六名が、各階層ごとに分かれてトーナメント方式により熱戦を展開した。

大会の講評で久留群長は、各中隊の選手の健闘を讃えるとともに「初一本・先の先」等による積極・果敢な攻撃精神の必要性を強調するとともに引続き錬成を継続することを要望して大会を終了した。

以下成績は次のとおり。

名寄よい所一度は



第342施設中隊 陸曹重 陸勝勝 小松

「名寄市」東部は、北見山脈が南北に連なり、西部は、雨籠山脈に囲まれた盆地で、天塩川が市の中央を南北に貫流し東方から名寄川が流れ込み合流しています。そんなと

ころから、アイヌ民族は「ナイ・オロプト」（溪流の注ぐ口）と呼ぶようになったようです。

名寄の気候は、寒暑の変化が非常に激しいのが特徴で、冬の最低気温は零下三十度を越えることが珍しくありません。市の人口は、約三万二千で小さな街ですが、近くには、昭和五十四年二月に国体冬季



第312施設中隊 陸曹茂 野朝

器材中隊は、毎年岩見沢市道の除雪作業を、部外工事として担当しています。

本年度も我が中隊は、三十四回目の岩見沢市道場ヶ丘、上志文線他六線延長約95百、幅員5の除雪を担任する事になりました。

十二月中旬から三十日迄の間、豪雪時には、連日の早朝作業で、一時は「どうなってんだ、この雪はいつ止むのか？」と心配しました。

器材中隊は、毎年岩見沢市道の除雪作業を、部外工事として担当しています。

本年度も我が中隊は、三十四回目の岩見沢市道場ヶ丘、上志文線他六線延長約95百、幅員5の除雪を担任する事になりました。

十二月中旬から三十日迄の間、豪雪時には、連日の早朝作業で、一時は「どうなってんだ、この雪はいつ止むのか？」と心配しました。

昭和から平成に年号が変わるとおまかせ下さい。

バトミントンで活躍

第三四二施設中隊 佐々木 准尉

平成元年二月二十六日（日）名寄バトミントン協会主催によるゴーゼン杯杯賽バトミントン大会（道北地区大会）が名寄市スポーツセンターで実施された。

大会は、一部、二部、三部の部別に分かれて実施され、我が中隊第三四二施設中隊（名寄）の増川政司三曹と大沼二士（平成元年一月十三日所属）の二名が参加した。

両名は、コンビで第二部のダブルスに出場、八チーム中第三位に入賞した。また、大沼二士は、第二部のシングルスにも出場（出場者十六名）し、一回戦はストレート勝ち、準決勝では僅差で勝って決勝戦に進出した。

決勝戦では、第一セットは

平成元年二月二十六日（日）名寄バトミントン協会主催によるゴーゼン杯杯賽バトミントン大会（道北地区大会）が名寄市スポーツセンターで実施された。

大会は、一部、二部、三部の部別に分かれて実施され、我が中隊第三四二施設中隊（名寄）の増川政司三曹と大沼二士（平成元年一月十三日所属）の二名が参加した。

両名は、コンビで第二部のダブルスに出場、八チーム中第三位に入賞した。また、大沼二士は、第二部のシングルスにも出場（出場者十六名）し、一回戦はストレート勝ち、準決勝では僅差で勝って決勝戦に進出した。

決勝戦では、第一セットは

増川三曹 大沼二士



市内除雪工事



第337施設中隊 陸曹下 浅勝雄

冬の時期に排水に頭を悩ますと、今までのように、我が中隊が優秀なスタッフ一同苦勞している現状です。

その分、訓練、恒常業務、車両整備等かはかどっており、しかし、一油断大敵。石狩湾の小気圧の関係で、いつドカンと大雪がくるかも知れません。

我が除雪隊も、てくすねを引いて、準備に怠りはありません。

市民の皆様、どうぞ安心しておまかせ下さい。

冬季戦技競技会

制的な大逆転で勝利の幕を閉じた昭和最後の団冬季戦技競技会は映画のクライマックスいやラストシーンでも観ているように感極まるものがあったと思います。

思い起こせば昨年十一月二十七日副群長を隊長とする訓練隊を完結したもののこの十数年来まにみる暖冬、雪を求めた転地訓練、駆け足、筋力トレーニング等この時期としては予期せぬ訓練をしなければならぬ結果でした。

また、年末年始休暇も三日間だけ、日曜、祭日も返上という不満を持ったかも知れませんが、しかし、我々が考えなくてはならぬのは、あくまでも勝つための訓練をやっているのだという事です。

それゆえに、他部隊の休んでいる時でさえ訓練をやったという自信をもってすると、結果はおのずと出てくるのではないのでしょうか。

それが、十八秒という僅差の勝利に結び付いたと思われ、一優勝という重い二文字を、選手はもろろん駐屯地全隊員が信じ、応援して下さった結果だと思えます。

この勝利を、今後の訓練、後方業務、服務、戦技等それぞれ分野で活かすことが、今一つ進んで行きたいと思いを最後に「汗は無駄などない、栄冠は自分の手でつかむ」

近江建設株式会社

特定土木建設許可・一級建築士事務所

本社 岩見沢市4条東17丁目48番地 電話23-3026
支社 三笠市康松町1丁目374 電話 2-3179
営業所 札幌市中央区南2条西5丁目
ロジエ札幌25 806号室 電話011-222-5359
営業所 三笠市標内本沢町 電話 2-5403

北海道電力株指定・ナショナル電工チェーン店
東芝電材チェーン店・電気工事設計施工
火災報知設備・照明器具・家庭電化製品

千葉電気商会

電話068 岩見沢市東山町22番地71
電話 (0126) 24-4567番

宝石 創業79年 貴金属
防衛庁共済組合岩見沢支部契約店

株太田時計眼鏡店

岩見沢市1条西4丁目
☎0126223353・223354

八ヶ月、共済組合で仕事を
してきた中で、いろいろな事
がありました。
初めての仕事がいまいきか
ず、先輩達から注意されたこ
と。
棚卸しては、物の数の多さ

直営売店に勤務して



共済組合岩見沢支部
関 恵美子

共に、心境の変化もありま
た。
知らない間に、私自身に相
手を思いやらなければ、とい
う気持ちで深く心に刻まれた
のでした。
人と接していくことで、相

手も優しく会話を交わしてく
れることが手にとるようにな
り始めてきたのです。
学生の頃、接する人は、ほ
んの一握りの人達のみでした
ので、会話は自ら限定された
ものでした。

けれども、今は違います。
私は今、立場や年齢を異に
する多くの人達と接して、会
話を交わしているのです。

に圧倒されて迷ってしまっ
たこと。財務局監査の人が来た
時も緊張して、自分で何をや
っていたのか、わからなくな
ったこと。
しかし、今、思い起こせば
あつという間の八ヶ月だった
ような気がします。

桜花



第336施設中隊
3等村 曹 真 吾

桜の咲く頃の季節になると、
私は、十五歳の春を思いだし
ます。

あの頃、私は期待と不安を
胸にして、少年工科学学校の門
をくぐりました。
辛かった事、楽しかった事
今となってはどれも懐かしい
青春の思い出です。

あの日から、四度目の桜の
す。

桜の咲く季節には誰にでも
青春のさまざまな思い出があ
ることと思います。
学びの同窓の友との別れ、
そして学生から社会人として
の旅立ち、そんな時には誰で
も何かを決意するでしょう。
初志、思い出、いつまでも
大切にしていきたいと思いま

社会人となつて



北海道ガス石油
岩見沢営業所 勤務
田 辺 雄

早いもので、定年退官して
二年が過ぎ、心身ともに健全
で勤務をしております。
振り返ってみますと、研修

期間の六ヶ月間で、ある程度
職務内容は理解していたもの
の、いざ入社してみると会社
は想像以上に厳しいものでし
た。
ましてや、年齢的にも五十
三歳を過ぎての新入社員であ
り、その心境は特に複雑なも
のがあり、職場でたまに失敗
すると、仕事に慣れていた自
衛隊はよかつたなアーと、シ
ンボリ。

雑感

仁敷 きよみ

糧食班の炊事について、ど
のようなイメージを皆さんお
持ちですか。
地味、暗い、大変そう、そ
れともやり甲斐があるとか。
でも、どの仕事もそうだと
思いますが、これはやはり実
際に従事してみないと、わか
らない部分が多分にあるとお

もいます。
炊事の事は、やり直しが
きかず、毎食、毎食に神経を
使っています。ですから、動
務員としての一人一人にかか
る責任には、とても大きいも
のがあると思います。
そして、訓練、競技会など
で前面に出て仕事をする事は



そんな弱気な気持ちにカッ
を入れ吹き飛ばしてくるの
は、自衛隊生活で得た、さま
ざまな経験と不撓不屈の精神
であり、今では私の人生にお
いて大きな心の糧となってい
ます。
今後は更に己を知り、笑顔
と反省を忘れることなく勤め
たいものと思っています。
また、永年勤続のOBとし
て自衛隊発展のため微力なが
ら後方支援ができれば幸いと
常、日頃心にとめていられるも
のであります。

しかし、一線部隊に出てい
かれる人達を後方から支援す
るために、夏・堪えなく暑く
冬、結構寒い厨房で一日中立
ち仕事や、揚げ物作業で食欲
をなくしたり、たまには指を
切りながらも黙々と働く隊員
さんに接していると、そこに
もうひとつの自衛官の姿を見
ることが出来ます。
また、毎食、毎食美味しく
食事をして頂けるより心掛け
て仕事をしているわけですが、
卓上のノートに書かれた皆さ
んの言葉に素直に喜んだり、
すこくガッカリしている自分
や炊事勤務員の隊員さんの姿
を見ていると、突き放した言
葉だけではなく、「こうする
と、いいのでは？」というよ
うな、もう一度こちら側にも
立て直しの機会を与えてくだ
さる意見も出して頂きたいと、
生意気ですが、希望します。
私は、臨時勤務を終えられ
た隊員さんには、中隊に戻ら
れてからも頑張ってください
と思っていますし、陸曹を目指
ている隊員さんには、一日も
早くその目標が叶えられるこ
とを心から応援しています。

人物紹介



本部管理中隊 佐々木三曹
本部管理中隊
新原 春 義

本部管理中隊のニュースタ
ー「新原春義」三曹を紹介し
ます。
彼は、昭和四十二年九州は
博多で生まれ名前は、「シン
バル」と読んでください。
趣味は、バイクでのツーリ
ングとスキー。

夏期の休みの日には、営内
者のバイク仲間とともに愛車
の「カワサキエルミネーター」
二五〇CCに跨り道内各地に足
をのぼし、道外では、青森ま
でツーリングしたことがある
とか。
冬はスキー（今年から始め
た）で、昭和六十三年度の団
スキー競技会に向けての群特
戦隊に所属し、まさに日の出
の勢いといえるほど日々自己
レコードを更新し、競技会に
おいて群優勝の原動力となり
ました。

スナック
ピットイン
岩見沢市3条西1丁目
☎0126 (23) 5094番

安心しっかり
愛車もしっかり
車検費用積立プラン
富士火災
担当 松浦直樹
岩見沢支社 ☎23-5142

時代を一步リードした
中庭のあるモデル住宅
柏崎建築設計事務所
建築請負 柏崎建設株式会社
代表取締役 **柏崎昭明**
会社 岩見沢市11条西1丁目
電話代 2129番
木工場 岩見沢市東山町
電話 1725番

ひるろば

家族スキー教室に参加して

小学五年 赤井 井 茂

ぼくは、このスキー教室に毎年やってきて、とても楽しみにしています。

それは、自衛隊のスキー指導員の人たちに、いろいろと教えていねいにスキーの基礎から指導していただくからです。市内の小学生との交流もあって、仲間もできました。

短い三日間のスキー教室もあっという間に終わってしまいました。三日間に習ったのは、シュテムターン・パラレルターンなどで、足の動きなどもこまかく指導していただきました。

上級認定書をいただき、平成元年初めての賞なのでとてもいい記念になりました。来年も、がんばって参加します。



冬期戦技競技会に参加して



第336施設中隊 陸士 博 松

一月十三日、私は第三三六施設中隊に配属になりました。先輩方の顔や名前さえ覚えきっていないのに、一月二十日から二夜三日の冬季検閲に参加を命ぜられたのです。つる不安でいっぱいでした。

何も出来ずにオロオロしながら見ていた掩体の構築、先

中隊に配属されて



第335施設中隊 陸士 昭 輝 柴

しかし、先輩は優しくしてくれました。一生懸命心配してくれる人がいるのに、なぜ、自分が頑張れないのかと思うと涙が出てくるほどでした。

私は北海道に来て、あまりにも環境の変化にびっくりしました。精神的に大変弱いので、すぐ嫌になりました。そんな気持ちで、中隊に配属になったので、嫌な気持ち

が今まで以上になりました。こんな私を、支えてくれたのは先輩でした。いやな気持ち、態度や仕事面にも出ていたのでしょう。

わが家紹介

第三三五施設中隊 藤原 常 雄

私の家族は、今年で又歳に長男(雄一)は、今年中学に入学し、次男(健二)は、小学2年生で、



わんぱくさかり、にぎやかな日々ですが、一家団らん楽しく幸せに暮らしております。写真は家族そろって出かけた時のもので、これからも家族の「ふれあい」を大切にしていきたいと思

冬期戦技競技会に参加して

私は、今年スキー訓練隊に初めて参加しました。今年、第三施設団の冬季戦技競技会が実施されるため、群で戦技隊を結成したのですが、その練習は、私にとつて地獄のような苦しさを味わうものでした。



第335施設中隊長 陸士 英 則 四 関

私は、戦技隊のなかでは遅い方なので、とてもしごかれ、手を抜くことは出来ず、苦しい連続の日々でした。それで、私の心ななは悔しさを一杯でしたが、練習を始めて、二ヶ月もすると良いタイムも出るようになり、やつと選手になりました。

その喜びはひとしおで、かつ又選手として、練習の成果をそのまま二月二十二日の競技会に活かすことが出来たと

思います。十二施設群は、優勝の栄冠を勝ち得ることが出来ました。その時は、苦しかった訓練を忘れて、本当に戦技隊に参加できて良かったと思

初めて体験した北海道の冬



通信隊 横井 英一

私は、この岩見沢駐屯地に昨年、十月二十日に配属されて、早半年が過ぎました。私は、出身が愛知県で北海道には以前(七年前の夏)に観光で来た事があるのですが、北海道で実際に生活したことが無いので正直言って初めての北海道の冬に不安感や恐怖感を持っていました。

しかし、実際に体験してみないとどれくらい寒さか分からないので、

北海道の冬・スキー



第337施設中隊長 陸士 篤 石

自分は生まれてから十九年間、スキーに乗ったことが一度もありませんでした。スキーどころかこんなに雪に囲まれての生活もなく、不安ばかりが毎日のつらさでした。しかし、雪のある部隊として一つ大きな訓練だと思

悟を決めていたので辛くはありませんでした。訓練が始まりビデオ鑑賞をしながら、一生懸命にイメージを描きました。しかし、スキーを履いてみると、体の一部になることは

わが家紹介

第三三五施設中隊
村山三曹妻裕子

子

現在我が家は四大家族、でも本当は、おじいちゃん、おばあちゃん、大はあちゃんとの七人家族です。

さて、我が家の大黒柱お父さん。

「奈美ちゃん・亜希ちゃんただいまい」の帰宅第一声に始まりタカイ・タカイからお馬さんパッカ・パッカかたぐるまなどなど。

二人の子供を順番に、一時間もかかって汗びっしょりになりながらお風呂にいたり、仕事をしているより家にいる方が疲れそうなくらいの元気お父さんです。

次に我が家の台風、長女の奈美。現在一才四ヶ月。

いたずらのまっさかりで、おもちゃに始まり家中のものを全部引っぱり出して遊んでいます。でも最近、少しずつ言葉覚えて、一日中しゃべったり歌ったりしています。

そして、次は我が家のルーキー次女の亜希。

現在四ヶ月、ニコニコ笑っているかと思えばすぐビビり泣いてみたり、静かになれ



ばスーナー寝息をたて、本当に百面相みたいです。

寝返りも半分くらいいけるようになり、だんだん可愛くなってきました。

そして、最後は私。我が家の太陽お母さん。

お風呂の水を出しっぱなしにしてみたり、包丁で指をきつてみたり少しドジをしながら

ら毎日二人の子供を相手に家の中をウロウロ。

専業主婦にとっぷりつからないうちに、しつかり女を磨きたいと思っではいるのですが、北海道へ来て、約半年。やっとなら生活にも慣れ「子供達が早く大きくなれ」と思いつつ、親子四人毎日楽しく暮らしています。



担当
本部管理中隊
豊蔵 3曹

人事往来

行く人

〇第十二施設群

道外

- 二尉 網屋 秀俊 (勝田)
- 曹長 佐藤 三郎 (神町)
- 二曹 村川 勉 (大村)
- 二曹 前 秀和 (鶴江)
- 三曹 木村 英二 (勝田)

- 三尉 齊藤 貞広 (帯広)
- 三尉 矢田 浩通 (旭川)
- 一曹 戸之口 宏行 (南忠庭)
- 一曹 山口 治次 (南忠庭)
- 二曹 平岡 忠光 (白老)
- 業務隊
- 一尉 菅原 敏 (東千歳)
- 一尉 八木 田雄 (札幌)
- 一尉 西森 純一 (北千歳)
- 行(一)3
- 田中 守 (北忠庭)

栄光を

- 三級賞詞
- 一尉 傳法 和美 (職) 3・22
- 准尉 加藤 和美 (職) "
- 一曹 松井 充 (職) "
- 四級賞詞
- 士長 木村 清弘 (車) 2・1
- 二尉 網屋 秀俊 (職) 3・15
- 一曹 福原 一年 (職) "
- 二尉 大谷 敦 (職) 3・22
- 三尉 福村 長作 (職) "
- 一曹 山村 睦雄 (職) "
- 一曹 佐藤 隆 (職) "
- 一曹 佐藤 清秋 (職) "
- 一曹 大島 勤也 (職) "
- 一曹 河原 裕幸 (職) "
- 二曹 北山 幸一 (職) "
- 二曹 南城 勳 (職) "
- 二曹 下浅 勝雄 (職) "
- 二曹 上杉 高正 (職) "
- 二曹 林 勝則 (職) "
- 士長 石黒 潤可 (職) "

くる人

第十二施設群

- 二尉 中村 謙一 (東千歳) 第三三五施設中
- 二尉 村上 賢治 (春日井) 第十二施設群付
- 三尉 土谷 修 (旭川) 第三三六施設中

- 本部管理中隊へ
- 一曹 菅原 正道 (南忠庭)
- 二曹 松田 保 (健康)
- 二曹 福水 秀美 (名寄)
- 第三二二施設器材中隊へ
- 一曹 福原 一年 (名寄)
- 二曹 伊藤 一則 (名寄)
- 三曹 浅村 治 (名寄)
- 三曹 鹿子木 一徳 (名寄)
- 業務隊隊員
- 一尉 小笠原 貞夫 (帯広) 岩業補給科長
- 三尉 加藤 秀一 (旭川) 三三七会計隊
- 三曹 生井沢 威 (滝川) 岩業管理科
- 行(一)3 佐藤 俊昭 (中央病院) 岩業衛生科
- 行(一)3 須古 邦雄 (白老) 岩業厚生科

- 駐屯地内移動
- 第十二施設群岩・業務隊へ
- 三尉 佐藤 勝 (援護幹部)
- 三尉 松崎 延男 (厚生班長)
- 二曹 門脇 孝行 (総務科)
- 三曹 大串 健次 (補給科)
- 岩・業務隊へ第十二施設群へ
- 一曹 榎 秀勝 (三三三六中)
- 一曹 高橋 政治 (三三三六中)
- 三曹 井本 哲吉 (三三三六中)
- 新規採用
- 行(一)2 小幡 正二 (岩業)

定年退官

永い間本当にごくろうさまでした



- ※ 第三三六施設中隊
- 二等陸尉 伊藤正四郎 2・20 (住所)
- 岩見沢市美園六条八丁目七 (勤務先)
- 桜川税理事務所
- ※ 第三四二施設中隊
- 陸曹長 岡部 優 3・9 (住所)
- 名寄市西六条南四丁目20
- ※ 岩見沢業務隊補給科
- 行一 木村博一 3・31 (住所)
- 岩見沢市南町九条四丁目

おめでとう

新婚さん

- 村上海雄 妻 女子 2・26 (現地調達)
- 松井 務 妻 名寄永住? (幸せいっばい!)
- 佐々木 千昭 妻 深雪 3・1 (やっとなわって熱し)

川柳もどき

- ・香りたつ 桜の花と 梅の花こぶしさけ
- ・さけ演習場
- ・年度末 鋭気養う暇 もなし
- ・ふきのとう よけて 転んだスキー場
- ・大雪とよたれでつ かんた優勝旗
- ・北国も住めば都と 負け惜しみ
- ・あの鳥は なんの鳥かと 群長真似(オヤジ)

こんにちは 赤ちゃん

- 川上 茂 二長女 静香 1・11 (思いやりのある女に)
- 内藤 利夫 長女 琴子 3・23 (かわいくて)
- 河原裕幸 三男 康裕 3・28 (元気に育て!)

サンフラザウエイディングプラン

華燭

※ 式場から披露宴までのすべてを111してこの価格!

ご両家ご負担 **200,000円**

★ 食費お1人様6,500円 × 人数 + 200,000円(ご両家ご負担)

豊かな味と憩いの広場

ホテルサンフラザ

岩見沢市4条東1丁目 ☎23-7788

中国風パブスナック

里

岩見沢市3条西1丁目 ☎23-2533 / 25-0631

あなたの祝典のステージ

平安閣

岩見沢市5条東2丁目 ☎(0126) 23-4581